

青梅市の将来人口推計および目標人口の設定（案）

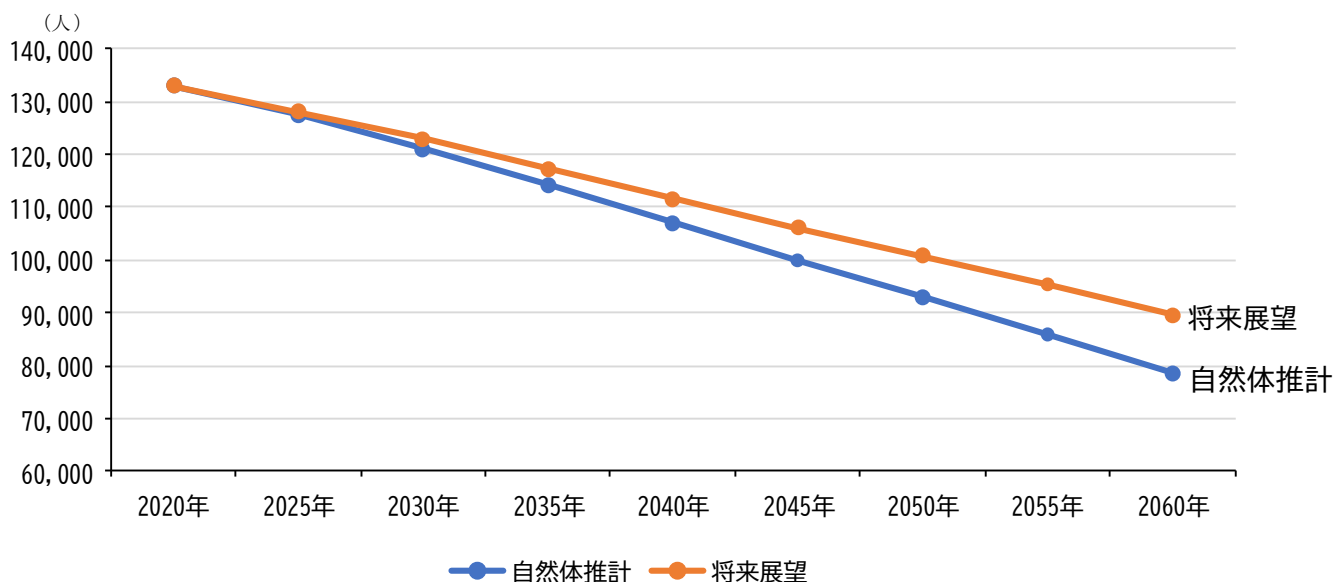
1 推計の考え方

将来人口推計にあたっては、直近の住民基本台帳人口（令和4年1月1日）等の実績を反映させ、自然体（現状維持）及び将来展望を推計しています。

推計における各種条件は以下のとおりです。

項目	条件
合計特殊出生率	<p>【自然体】 —— 直近値（2020年）1.10のまま一定で推移</p> <p>【将来展望】 —— 2040年までに直近値1.10から直近の多摩地区最上位値1.37まで上昇し、その後一定で推移</p>
移動率（数）	<p>【自然体】 —— 2016年1月1日から2021年1月1日までの地区ごとの移動率※を基準として、一定で推移 ※移動率は、死亡による影響を除いた人口変化を移動数としてみなして算出</p> <p>【将来展望】 —— 2016年1月1日から2021年1月1日までの地区ごとの移動率※を基準とし、以下の転入促進及び転出抑制を見込んだ場合 転入：毎年40世帯、90人 転出抑制：毎年65人</p>

2 長期的な推計



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
自然体推計	133,032	127,558	121,180	114,269	107,068	99,941	92,982	85,898	78,595
将来展望	133,032	128,166	122,925	117,349	111,674	106,156	100,804	95,320	89,601

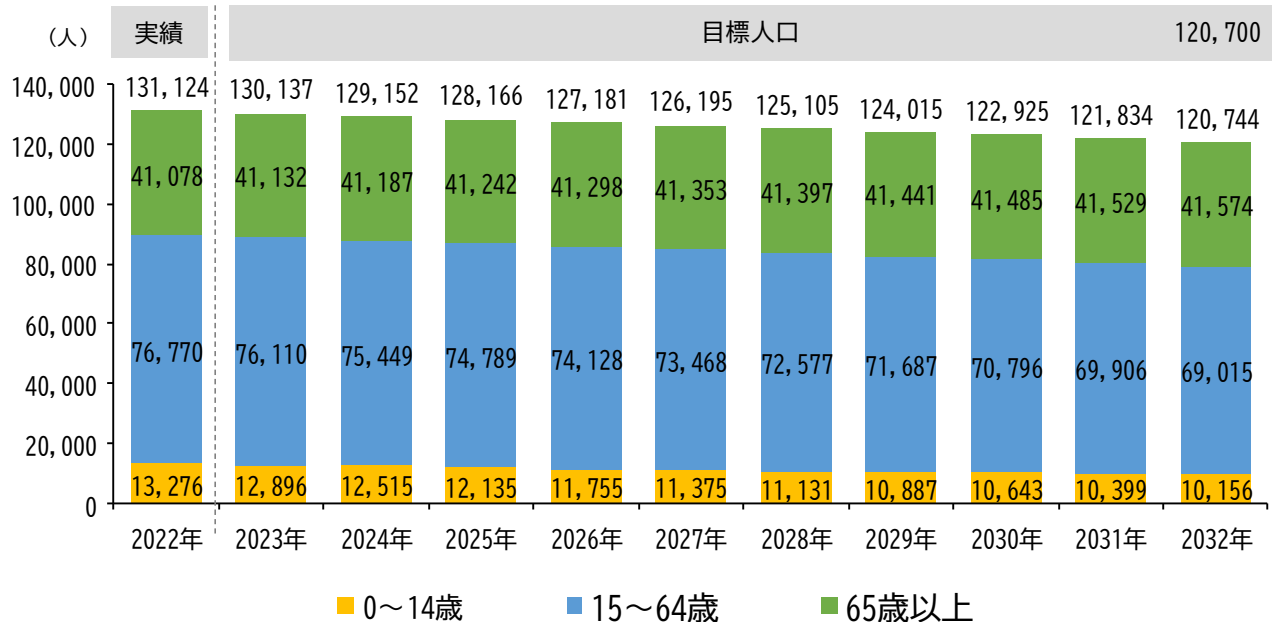
3 計画期間中の目標人口

長期的な推計を踏まえ、計画期間中の目標人口を以下のとおり設定します。

設定にあたっては、新たに行った将来人口推計を基に、1年ごとに均等に按分して算出したものです。

基本構想の目標年次である2032年においては、総人口120,700人の維持を目指します。

(1) 年ごとの推移



(2) 計画策定時から10年後の目標人口

